



地_{Chi}中_{chu}美_{Art}術_{Mus}館_{eum}

地中美術館は、クロード・モネ、ウォルター・デ・マリア、ジェームズ・タレルの作品を安藤忠雄設計の建築に恒久設置しています。瀬戸内の自然と地中につくられた空間を通して、自然と人間との関係を考える場所です。

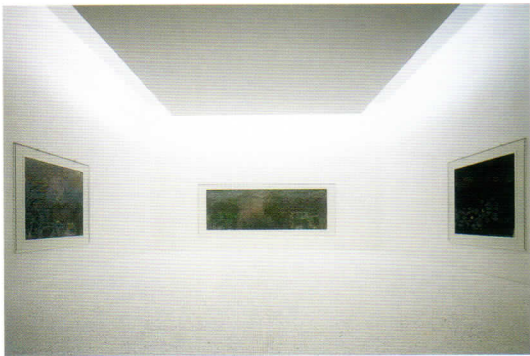


photo FUJITSUKA Mitsunasa

クロード・モネ

B2F

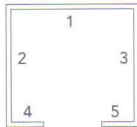
地中に作られた空間でありながら、自然光のみでモネの絵画5点を鑑賞することができます。部屋のサイズ、デザイン、素材は、モネの絵画と空間を一体にするために選定されました。作品は、オランジュリー美術館の大装飾画に代表される最晩年の「睡蓮」シリーズです。

【作品名】

- 1 「睡蓮の池」 c.1915-26年 油彩、2枚組、各 200×300cm
- 2 「睡蓮一草の茂み」 1914-17年 油彩、200×213cm
- 3 「睡蓮」 1914-17年 油彩、200×200cm
- 4 「睡蓮の池」 1917-19年 油彩、100×200cm
- 5 「睡蓮一柳の反映」 1916-19年 油彩、100×200cm

【略歴】

1840年パリに生まれる。
1926年ジヴェルニーの自宅で86歳の生涯を終える。
代表作：「印象：日の出」のほか、「積み藁」、「ルーアン大聖堂」。1883年に移り住んだジヴェルニーに「水の庭園」と呼んだ睡蓮の池とそれを囲む庭を自ら造園し、「睡蓮」を生涯描き続けた。



ウォルター・デ・マリア

B3F

ウォルター・デ・マリアは厳密な寸法とともに空間を提示し、その空間に直径2.2mの球体と27体の金箔をほどこした木製の彫刻を配置し、構成しました。作品スペースの入り口は東側にあり、日の出から日没の間、作品の表情が刻々と変化していきます。

【作品名】

「タイム／タイムレス／ノー・タイム」
2004年 花崗岩、マホガニー材、金箔、コンクリート

【略歴】

1935年カリフォルニア州オルバニーに生まれる。
2013年死去(享年77歳)。
代表作：「ライトニング・フィールド」(1977年、ニューメキシコ)、「ニューヨーク・アース・ルーム」(1977年、ニューヨーク)、「ヴァーティカル・アース・キロメーター」(1977年、カッセル)、「ブローケン・キロメーター」(1979年、ニューヨーク)、「見えて／見えず 知って／知れず」(2000年、直島)。

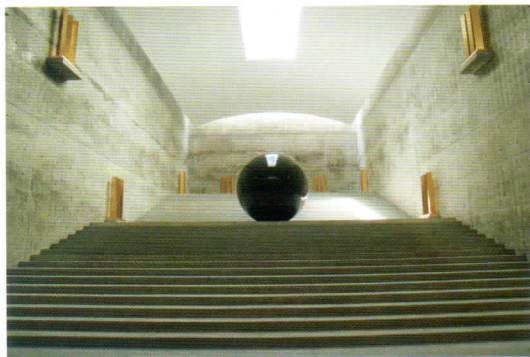


photo Michael Kellough

ジェームズ・タレル

光そのものをアートとして提示するジェームズ・タレルの作品は、それを正確に体験するため、形態やサイズはタレル本人によって設計されました。当館の3作品は、タレルの初期から現在までの代表的なシリーズの中から選ばれたものです。



photo Naoya Hatakeyama

〔作品名〕

「アフラム、パール・ブルー」

1968年 プロジェクター

「オープン・フィールド」

2000年 蛍光灯、ネオン管

「オープン・スカイ」

2004年 LED、キセノン・ランプ

〔略歴〕

1943年カリフォルニア州ロサンゼルスに生まれる。
1979年よりローデン・クレータープロジェクト働き。
現在、アリゾナ州フラッグスタッフ在住。
代表作：「ローデン・クレーター」(1979年、アリゾナ)、
「スカイスペース」(1986年、P.S.1、ニューヨーク)、
「バックサイド・オブ・ザ・ムーン」(1999年、直島)、
「光の館」(2000年、新潟)。

安藤忠雄

安藤忠雄の建築を構成する主な素材は、コンクリート、鉄、ガラス、木です。当館は、その4つの素材を使用し、デザインを極限まで切りつめて設計されました。安藤は、地上に立ち上がる外観のデザインを退け、地中だけで構造体を構築しています。

〔地中美術館〕

面積：

敷地面積 9990㎡ 建築面積 34.98㎡

延床面積 2573.48㎡

構造・規模：鉄筋コンクリート造、地下3階

〔略歴〕

1941年大阪に生まれる。独学で建築を学び、
1969年安藤忠雄建築研究所を設立。
代表作：「住吉の長屋」(1976年、大阪)、「光の教会」(1989年、大阪)、
「ベネッセハウス」(ミュージアム1992年、オーバル1995年、
パーク・ビーチ2006年、直島)「南寺」[李禹煥美術館][ANDO
MUSEUM](1999年、2010年、2013年、直島)。

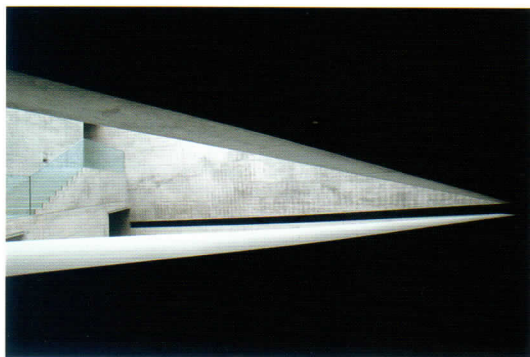


photo FUJITSUKA Mitsumasa

開館時間

- * 3月1日—9月30日 10:00～18:00(入館は17:00まで)
- * 10月1日—2月末日 10:00～17:00(入館は16:00まで)

休館日

月曜日(ただし、月曜日が祝日の場合は開館、翌日閉館)

※臨時休館する場合がありますので、

詳しくはベネッセアートサイト直島公式サイトにてご確認ください。

鑑賞料

大人2,060円、15歳以下無料、年間パスポート10,300円

※すべて税込

地中美術館からのお願い



ゲート以降の数地内では撮影をご遠慮いただいております。



館内では靴を脱いで鑑賞いただく作品スペースが2ヶ所ございます。

- 自然光でご鑑賞いただくため暗い場所があります。足もとにお気を付けてください。そのほかスタッフのご案内にご協力ください。

地中の庭

チケットセンターから地中美術館の入口までの道のりに、「地中の庭」があります。クロード・モネが愛した草花や樹木、池の水面は季節や時間によって刻々と表情を変えます。モネが描こうとした風景から、地中美術館の鑑賞体験は始まります。

地中ストア **B1F**

地中美術館に併設するストア。当財団刊行の書籍をはじめ、アーティスト関連書籍、オリジナルグッズ、ポストカードなどをそろえています。

地中カフェ **B2F**

瀬戸内の美しい風景が一望できるカフェには屋外スペースも設けられています。自然の豊かさを改めて感じるができるよう設計された空間です。*メニューは時期によって異なります。



壁やガラスをふくめ作品に触らないでください。



飲食はご遠慮ください。



喫煙はご遠慮ください。



静かな鑑賞環境にご協力ください。

地中美術館

公益財団法人 福武財団 〒761-3110 香川県香川郡直島町3449-1

Tel:087-892-3755 Fax:087-840-8285

Mail:chichu-info@fukutake-artmuseum.jp <http://benesse-artsite.jp/>

Benesse
Art Site
Naoshima